



発行所
金沢市泉本町3-111
金 沢 高 等 学 校
新聞部・文化委員会

校訓と教育理念

質実剛健の
気風を高揚し
共に求める真理
共に育む友愛
共に尊ぶ礼節
共に鍛える心身

地域奉仕の輪広がる

～後期生徒会執行部活動中～



力を合わせて地域の美化に取り組む生徒たち

平成26年度後期生徒会執行部役員は10月7日に選出され、新しい体制をスタートさせた。さっそく同執行部主導による地域清掃が11月1日に本校周辺で行われ、約150名の生徒が奉仕活動に汗を流した。

美化で感謝の気持ち示す

日頃お世話になっている地域を美化し、感謝の気持ちを表すため、多くの部活動の部員や全学年から集まった有志の生徒たちによって行われた。ごみの収集のほか、西泉駅の自転車の整備、用水路の清掃など、約1時間半にわたってさまざまな地域をきれいにした。

参加者たちは清掃だけではなく、出会った住民の人たちに積極的にあいさつし、奉仕活動を通じて地域とのコミュニケーションの輪を広げている。終了時にはたきごみ袋が積み上がり、参加者は達成感を得るとともに、ボランティア活動の大切さを感じ取った。

後期執行部にインタビュー

発足直後からさまざまな活動を行っている執行部のメンバーに、今後の抱負などを聞いた。

楽しめる企画を考案したい

生徒会活動で今後取り組みたいことを聞くと、「後期はたいことを聞くと、「後期は

あまり行事がないので、学校全体で盛り上がるものを考えたい」という意見が聞かれた。「あいさつ運動」のほか、これまでの企画とは一味違った、ユニークな活動を考えている声が多いようだった。

自分の意見を積極的に出している新執行部のメンバーたち。私たちも積極的に行動して、執行部と一緒に学校を盛り上げていきたいものだ。

生徒会執行部

- 会 長 高 木 飛 佑 (2年7組)
- 副 会 長 村 井 祐 介 (2年3組)
村 東 英 司 (2年7組)
- 書 記 藤 原 悠 希 (2年3組)
岡 本 夏 音 (1年5組)
- 会 計 荷 川 取 佑 美 (2年4組)
宮 崎 優 貴 (1年7組)
- 執行委員 奥 村 未 来 (2年3組)



意見を交わす執行部メンバー

主張

信念を持ち、何かを変えてみよう

—マララさんのノーベル平和賞受賞に学ぶ—

昨年、パキスタンのマララ・ユスフザイさんは、ノーベル平和賞を史上最年少の17歳で受賞した。その若さとテロリストをも恐れぬ勇気が、世界中を驚かせた。

マララさんは11歳の時から、女性のための教育の必要性と平和を訴える活動を始めた。それに反対するイスラム武装勢力によって、2012年に銃撃され瀕死の重傷を負った。

しかしノーベル賞受賞されるか。私は後者を信じ、情を持った人にもいるだろう。これから長い人生が待ち受けているのに、早速やるのは

ピーチで、彼女はこう語っている。「2つの選択肢がありました。沈黙したまま殺されるのを待つか、声を上げて殺すか」といふ人はいれば、自

己の17歳という私たちにありえないかという批判もあるだろう。

彼女が私たちと同じ、今も学び続けている学生である。

に移しているのだろうか。たとえ、自分の命が狙われようとも。その勇敢で、地道な活動を積み重ねていき、世界的に評価されるようになった。

私たちも、周囲の状況に不満を言っているだけではなく、彼女のように強い信念をもって、行動することができないのではない。彼女を見れば、「若い」を行動できない理由にするのは不可能だ。マララさんはまさにこう語っている。「今は彼らを哀れむのではなく、行動をするとき

第86回金高祭開催

新企画に笑顔広がる



息の合ったダンスを披露する生徒たち

息の合ったダンスを披露

9月4日、5日の2日間、第86回金高祭が開催された。今年のテーマは「Step up!」ありのままじゃだめなっしー。全クラスがダン

ス発表や模擬店、展示などに参加したほか、生徒会執行部は多数の新しいイベントを企画し、従来のよもさらに盛り上がった文化祭となった。午前中は、2年生がステージ上でダンスや映像発表を行い、会場を沸かせた。また吹奏楽部、バントワグ同

好会、インターアクト部、等曲同好会などが日頃の練習の成果を披露し、観客を楽しませた。新企画の「金沢高校検定」では、わが校にまつわる難問奇問が出題され、生徒たちは驚きの声をあげていた。

水鉄砲合戦に歓声

午後からは恒例の1年生の展示や3年生の模擬店のほか、バットゴルフ大会や水鉄砲を使った屋外イベント「金高水合戦」などの新しい企画が行われた。模擬店はビビンのライスバーガーや、英会話部のナチョスなど、新メニューも話題を呼んだ。いずれも各クラスが夏休みのうちに準備を行い、仲間たちと懸命に努力した結果、それぞれの個性が際立つ、素晴らしい文化祭になった。また、生徒会執行部や各部の新しいことに挑戦しようとする熱意もあり、学校全体が「STEP UP」した姿を見ることができたのではないだろうか。

秋晴れの下、熱戦を展開

体育祭で赤団が優勝



渾身の力を込めた綱引き競技

10月1日、本校のグラウンドで体育祭が行われた。当初の日程から延期となったものの、当日は天候にも恵まれ、グラウンドいっぱいには生徒たちの声が響き渡った。

生徒たちは今年のスローガン「CHANGE THE HISTORY」歴史を変えていこう、団のため、クラスのために、一致団結して熱戦を繰り広げた。

特に盛り上がった競技が綱引きだ。赤団と黄団の試合では最初赤団が優勢。しかし、黄団が粘り強く縄を引き続

け、最後の最後に逆転勝利をおさめるという白熱した展開となった。そして、団対抗リレーでは生徒たちが見事なチームワークを見せて会場を沸かせた。

結果は赤団が435点で優勝。2位が黄団と青団で341点。4位が白団で311点だった。

クラスや学年の垣根を越えて声援を送ることで、互いの絆はより一層深まったことだろう。

Soul魂

新人大会特集

7年連続 優勝

男子テニス



白熱したプレーを見せる馬淵君

県高校新人大会テニス競技が9月10日から22日にかけて辰口丘陵公園テニスコートで行われた。

本校男子テニス部は団体戦で優勝。個人シングルスでは山崎大貴君(2年11組)が優勝を決め、更にダブルスでは馬淵祐司君(2年11組)・山崎大貴君ペアが優勝、更に谷口秀時君(2年10組)・松田昂也君(1年11組)が準優勝を決めた。

この結果に部長の馬淵君は「県大会で優勝することができましたが、北信越では6位という悔しい結果になってしまいました。来年の大会に向けて、日々一生懸命練習してきたいと思っています」と話してくれました。

【県新人大会結果】

- 個人シングルス 優勝 山崎大貴
- 男子個人戦ダブルス 優勝 馬淵・山崎ペア
- 谷口・松田ペア 2位

ソフトボール 全国総体5位、 県新人大会優勝



勝利を喜ぶ部員達

全国総体ソフトボール競技が8月1日から5日にかけて神奈川県保土ヶ谷公園野球場で行われた。本校ソフトボール部は木更津総合高校に敗れたものの5位となった。

【全国総体結果】

- 2回戦 金沢 2-0 宇都宮女子
- 3回戦 金沢 3-1 鳥取城北
- 準々決勝 金沢 3-1 木更津総合

県高校新人大会ソフトボール競技が10月25日から26日にかけて門前町総合運動公園で行われた。本校ソフトボール部は見事3年連続4回目となる優勝を

- 男子団体 2回戦 金沢 3-0 石巻
- 3回戦 金沢 3-0 桜丘
- 準決勝 金沢 3-0 金沢
- 決勝 金沢 3-0 泉丘
- 優勝

【北信越新人大会結果】

- 男子団体戦 2回戦 金沢 1-4 上田
- 順位戦 金沢 3-1 新発田
- 金沢 2-3 東条館 6位

女子テニス

また、女子テニス部では、県高校新人大会で米田理紗さん(2年6組)・西田朝香さん(1年2組)のペアがベスト16となった。



巧みなショットを打つ米田さん

【県新人大会結果】

- 女子団体戦 2回戦 金沢 0-3 明倫
- 女子個人戦ダブルス 米田・西田ペア ベスト16

果たした。この結果に部長の小池田未来さん(2年11組)は「新人戦は選抜をかけた大切な大会だったので、優勝という結果で終わることができて良かったです。3月に行われる選抜大会に向け、新人戦や北信越の課題を、残り4カ月で克服し、更にレベルアップして選抜大会を迎えたいです。選抜大会ベスト4という目標に向けて精進していきます」と話してくれた。

【県新人大会結果】

- 2回戦 金沢 7-0 金沢東
- 準決勝 金沢 6-0 金沢西
- 決勝 金沢 6-1 津幡 優勝

【北信越新人大会結果】

- 2回戦 金沢 3-0 磐前
- 準決勝 金沢 7-0 宇都宮
- 決勝 金沢 0-7 滑川 準優勝

自転車

2年連続総合優勝

県高校新人大会自転車競技は、11月13日から14日にかけて、県立自転車競技場で行われた。本校自転車競技部はスプリントで三輪連也君(1年7組)が優勝、3kmインディビジュアルパーシユートで小嶋健太君(2年6組)が優勝。団体競技でも優勝するなど好成績を残した。

男女で全国選抜出場決める



組演武を行う米田君(左)と桜井君

県高校新人大会少林寺拳法競技が11月14日から15日にかけて、白山市立美川武道館で行われた。本校少林寺拳法同好会では男子は自由組演武、自由単独演武で優勝を飾り、女子は規定単独演武で優勝した。この結果、男子、女子ともに全国選抜大会の出場権を獲得した。

【県新人大会結果】

- 自由組演武 三久龍哉・三久慎二(1年11組) 優勝
- 規定組演武 米田悠哉(1年6組)・桜井勇人(1年3組) 2位
- 全国選抜大会出場

【自由単独演武】

- 男子 三久慎二 優勝
- 三久龍哉 2位
- 山崎泰佑(1年8組) 3位
- 全国選抜大会出場

サッカー

惜しくも 準優勝

県高校新人大会サッカー競技が11月13日から16日にかけて和倉温泉多目的グラウンド他で行われた。本校サッカー部は星陵に敗れ、2位となった。

- 【県新人大会結果】
- 決勝トーナメント
- 1回戦 金沢 2-1 磐前川
- 2回戦 金沢 3-0 大谷
- 準決勝 金沢 2-2 遊学館 (PK 4-3)
- 決勝 金沢 1-4 星陵 2位



準優勝となった選手達

ボクシング

紺谷、 ライト級で 栄冠

県高校新人大会ボクシング競技が11月15日から16日にかけて北陸高校ボクシング場で行われた。本校ボクシング同好会はライト級で紺谷保君(2年3組)が見事優勝し、北信越新人大会出場権を獲得した。

- 【県新人大会結果】
- ライト級 紺谷 保 優勝

女子バレーボール

健闘 ベスト8



北陸学院戦で白熱したプレーを見せる選手達

【県新人大会結果】

- 予選 金沢 2-0 北陸学院
- 決勝トーナメント
- 1回戦 金沢 2-0 明倫
- 2回戦 金沢 2-1 大聖寺
- 3回戦 金沢 0-2 遊学館

【県新人大会結果】

- 男子団体Aチーム 澤本大虎(2年7組)・淵本透樹(2年7組) 4位
- 男子団体Bチーム 澤本君、浅野君は高校選抜ボウリング大会への出場権を獲得。

選抜2名出場決定!

- 県高校新人大会ボウリング競技が11月13日から14日にかけて栗津百万石リゾートで行われた。本校ボウリング同好会は、団体金沢Aチームで4位、Bチームで5位という結果になった。
- 女子は団体で3位だった。
- 【県新人大会結果】
- 男子個人 60kg級 北村光晟 3位
- 66kg級 北村光晟 2位
- 男子団体 2回戦 金沢 3-1 石巻
- 3回戦 金沢 0-5 津幡
- 女子団体 1回戦 金沢 1-1 磐前川
- 準決勝 金沢 0-3 金沢東 3位

柔道

北村光、 66kg級 個人2位

県高校新人大会柔道競技が11月13日から15日にかけて石川県立武道館で行われた。本校柔道部は個人男子では60kg級で北村光晟君(1年1組)が3位、66kg級で北村光晟君(2年6組)が2位という結果になった。

特集

金沢のランドマーク 21世紀美術館 開館10周年

金沢21世紀美術館は、2004年10月、以前金沢大学附属中学校、小学校等があった跡地に建設された。兼六園や金沢城公園に近く、まさに観光地と真ん中に位置する。これだけ歴史的な観光施設が

年間150万人を集客

金沢21世紀美術館は昨年10月、開館10周年を迎えた。かつて「現代アートは歴史ある金沢の町なみにふさわしくない」との批判があったものの、開館以後はその斬新な建物のデザインも話題を呼び、10年間で約1,500万人の来場者を集め、金沢の人気スポットとして定着した。世界から人を呼び寄せる21世紀美術館の魅力と、街に与えた影響について紹介する。

多い場所に、現代アートの美術館を建設するとなれば、さぞ批判する人も多かっただろう。ところが、21世紀美術館は円形でガラス張りというこれまでになかったデザインの建物で、先進的であると同時に、周りからの見通しが良いため親しみやすく、開館当初から



撮影：渡邊修 提供：金沢21世紀美術館



落合さんの説明を受ける新聞部員

国内外の話題を呼んだ。その後、毎年150万人程度の安定した集客力を保ち、今では

人生を変えるアートを見つければ

レオナルド・エルリッヒ
《ライミング・プール》
2004

兼六園、近江町市場等と並ぶ金沢の代表的な観光スポットになった。

高校生も参加できる 企画が多彩

自分の例で言えば、小学生の時に、学校の行事で訪れた、四丁の優秀作品が展示されたのを見に来たりしたことがあるが、中学、高校に入ってから、忙しいこともあったが、足を運んでいない。おしゃれな施設なので敷居が高く感じているのかもしれない。せっかくの人気施設なのだから、もっと私たちのような高校生が利用しなくなる仕掛けが必要ではないだろうか。同美術館の啓発部長、佐々木に疑問をぶつけてみた。

「ボランティアをやったり、ワークショップで活動したり、高校生でも参加できるプログラムは、実はたくさんありますよ」と落合さん。アートだからと堅苦しく考えることなく、無料のスペースもあるのだ。単なる待ち合わせやおしゃべり等であらうと立ち寄ってほしいという。同館のポリシーの一つが、「市民とともにくらす」という参加型の美術館を目指すものなので、街の一部としてどんな気分に浸ってほしいと。

人生を変えるアートを見つければ

最近では、女優の杏さんが

同美術館で人気の「レオナルドのプール」で、JR東日本の北陸新幹線開業PRキャラクター撮影を行った。新幹線がこの春開業すれば、もっと多くの観光客が詰めかけるだろう。ただ、世界各国から人気を集める同美術館も、私たちを含む地元の人たちにとっても、開館から10年がたち、「あつて当たり前」の感覚になっていないだろうか。

取材に訪れた時も、外国人のカメラがまるで映画のシーンのように、美術館の風景におしゃれに溶け込んでいた。芸術品を鑑賞するというより、雰囲気そのものを楽しんでいる様子だった。気軽に立ち寄れるこんなアート空間が身近にあることは、自分たちが気づいていないだけで、もしかするととても貴重なことなのではないだろうか。

最後に金沢高校の生徒に一言をお願いしたら、「芸術家にならなくても、ここでいろんなものを見て、若い人たちは感性を磨いてほしい。もしかしら人生を変えるような作品に出会えるかもしれないよ」と落合さん。金沢を「アートな街」に変えた21世紀美術館。私たち若い世代が積極的に関わり、これからも美術館と一緒に成長していきたい。

WELCOME TO 金沢高校!

留学生2名にインタビュー



笑顔の絶えないセリナさん(左)とアリソンさん(右)

フェンシングの達人

金沢で大好きな場所は、金沢駅や香林坊などの中心街。「日本のシュートクリームが大好き!」という女子高生らしいところもあった。

金沢高校の授業では数学に興味を持ったほか、体育で行ったバレーボールが楽しかったという。

2人とも、金沢高校で数多くの思い出が作れたと話していた。



フェンシングの構えを見せるアリソンさん

"See you again!"

父親は日本人

もう一人の留学生は、父親が日本人で、オーストラリア・メルボルン出身のセリナ・ウエダさん。日本の高校生活を体験するため、12月から1月末までという短い期間だったが、2年5組で学んだ。オーストラリアでは授業中、生徒が活発に意見を言うのに対し、日本では生徒が静かに聞いているところが、大きな違いだと感じたという。

また、オーストラリアの高校では、大学のように教科ごとに教室を移動して、授業を受けるそうだ。

編集後記

3年生も引退して、部員は私一人となりの存続が危ぶまれていました。が、1年生が2人入り安心しました。1年生は、来年度はさらに大変になると思いますが、頑張

体育祭が 一番の思い出

アリソンさんの出身地はオハイオ州シンシナティで、メジャーリーグのチームがある

金沢高校には昨年、2年生として2名の留学生がやって来た。アメリカ出身のアリソン・ピエロさんとオーストラリア出身のセリナ・ウエダさんである。異文化経験を通じて得た、日本、そして金沢高校に対する思いについて、彼女たちに意見を聞いてみた。

張って勉強と両立してほしいです。猫の手を借りたいくらい大変でしたが、なんとか終わらせることができました。拙いところもあるかと思いますが、金沢高校にあつた新しい新聞になっていけば嬉しいです。この場をお借りして、新聞作りに協力して下さい。文化委員をはじめ多くの方々、

またこの新聞を読んで頂いている読者の皆様に深く感謝を申し上げます。

新聞部長 深田悦代(2年2組)

私は2学期から新聞部に入部しました。まだまだ分からないことだらけですが、みんなと協力して楽しく、一生懸命頑張ります!!

藤本彩実(1年5組)

新聞部に入って間もないですが、一生懸命頑張りたいと思います。

そして、新聞部で使う道具を早く使いこなせるようにしていきたいです。

宮下花林(1年5組)